

地域課題の解決に向けた取組

低コストで効率的な施業の推進に向けて ～列状間伐施業の推進～

十勝西部森林管理署東大雪支署

1 はじめに

十勝管内の一般民有林においては、「列状間伐では、将来残すべき立木まで伐採されてしまい、形質の悪い木等、本来なら伐採すべき立木が残ってしまう」、「風の通りが良くなり被害の不安がつきまとう」等の懸念から定性間伐が多い現状にあります。

また、林業労働者の減少・高齢化等による労働力の不足、森林整備や木材の生産コストが高く採算性が低いなどの課題もあります。



十勝地域林政連絡会議

こうした中、十勝管内の森林管理（支）署と十勝総合振興局では、平成25年度

より「十勝地域林政連絡会議」を開催し、地域の課題の解決に向けて取組を行っています。その中から、「列状間伐」の普及についての取組を紹介いたします。

2 列状間伐の普及に向けて

列状間伐は、安全で低コストな伐採搬出作業であることが知られていますが、一般民有林における実施率は高くありません。

一般の森林所有者がもっている列状間伐に対する懸念を払拭するために、簡易に作業工程・生産コストを算出し、機械ごとの作業工程が把握できる「工程管理システム」の活用を考え、平成28年度からこのシステムを使用して、列状間伐における工程、コストの見える化に取り組みこととしました。

現在、このシステムでの分析に必要な稼働時間等の因子を収集して、作業工程の改善などにつなげるために、当支署管内の請負事業

体の協力を得てデータの収集を進めています。

これまでの工程管理プログラムを用いたデータ収集と分析を行った結果については、十勝地域林政連絡会議等の機会を捉え、列状間伐の作業システムや生産性などについて民有林関係者への情報発信を行いました。



列状間伐実施後

なお、取組を始めた平成28年度については十勝地域を襲った台風等の影響により事業地の取り止め、作業条件の悪化など例年とは違った悪条件が重なり、通常の作業データが集まらないこともありました。

3 おわりに

このような取組を始めて数年ですが、継続してデータの蓄積・分析を行い、どのように効率的な森林整備を進めて行くのか、そのためにどんな改善をしたのかなど、情報発信していきたいと考えます。

今後とも、民有林関係者の方々との連携を図り、地域の課題解決に向けて継続的に取り組むことにより、令和時代においても、「資源の循環利用による林業の成長産業化」の一助になることができると考えています。

工程管理システム

バージョン 04-201901
平成31年1月11日
作成：徳志森林管理署

入力は、事業概要、機械損料、機械燃料、工程算出因子、日報の5つのシートです。

- 事業概要の入力へ
- 機械損料の入力へ
- 日報の入力へ
- 機械燃料の入力へ
- 工程算出因子の入力へ

工程管理システムのトップページ
(平成31年1月11日更新)



北海道森林管理局ホームページでも
工程管理システムの取組をご覧いただけます。